

# 北斗市地域公共交通活性化協議会

平成30年10月11日設置



## 概要

北斗市は、北海道の南端部に位置し、面積は397.44km<sup>2</sup>、2つの自治体が合併したまちであることから、市街地が分散している。また、函館市のベッドタウンとして郊外型の宅地開発が行われてきたことから、住民は自家用車への依存度が高い。また、函館市を中心に放射線状に公共交通が運行しているものの、函館から離れるにつれて交通空白地が広がっているため、公共交通に対する市民ニーズは地域により大きく異なっている現状である。また、市内には複数の公共交通のほか、様々な輸送資源が競合している現状にある。

### ○地域公共交通の現況

- ・北海道新幹線、JR函館本線（新函館北斗駅）
- ・道南いさりび鉄道線（市内7駅）
- ・函館バス（株）（市内23路線）
- ・（株）新星ハイヤー

### ○地域公共交通の課題

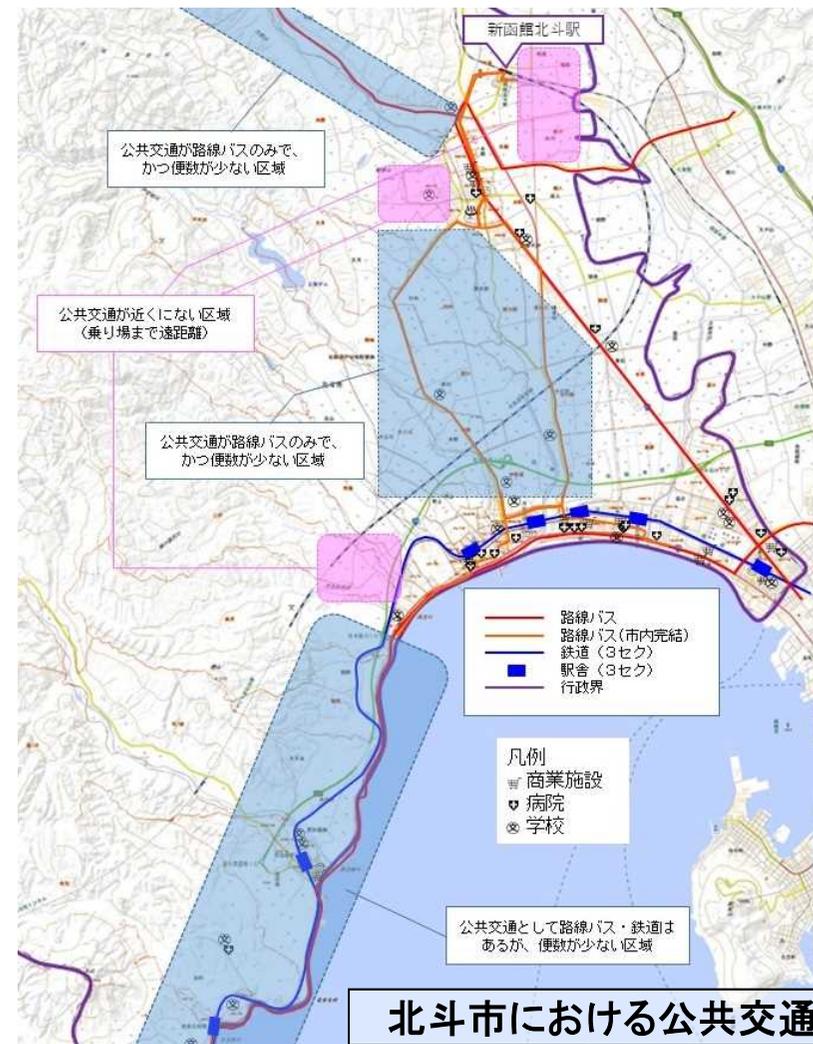
- ・自家用車への依存度が高く、さらに人口減少が進行していることに伴う地域公共交通の利用低迷
- ・持続可能な地域公共交通手段の確保
- ・市民の地域公共交通に対する意識醸成や利用促進策の検討

### ○調査の主な内容

- ・北斗市の公共交通に関する現況整理及び課題抽出
- ・市民等の移動実態及びニーズ把握
- ・北斗市地域公共交通計画案とりまとめ
- ・協議会開催

### ○地域公共交通活性化協議会開催状況

- ・令和2年8月26日 第4回協議会開催  
調査事業の実施概要 説明
- ・令和2年12月16日 第5回協議会開催  
計画の構成、調査事業の実施状況、現状と課題 説明



北斗市における公共交通の概要

# 北斗市地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

## ●事業の結果概要

### 【事業内容】

・北斗市の公共交通に関する現況整理及び課題抽出 ・市民等の移動実態及びニーズ把握 ・北斗市地域公共交通計画案とりまとめ ・協議会開催

### 【結果概要】

#### ○北斗市の公共交通に関する現況整理及び課題抽出

- ・第2次北斗市総合計画、第2期北斗市まち・ひと・しごと創生総合戦略など、市の上位計画・関連計画における公共交通の関連事項を整理し、市における公共交通に対する考え方等を整理した。
- ・全ての輸送資源を総動員するという考えのもと、交通事業者(4社)のみならず、企業送迎バス運行事業者(3社)、買い物支援サービス事業者(2社)、学校関係者(4校)、福祉有償運送事業者(1社)にヒアリングを実施し、現状把握を行った。

#### ＜ヒアリングにより分かったこと＞

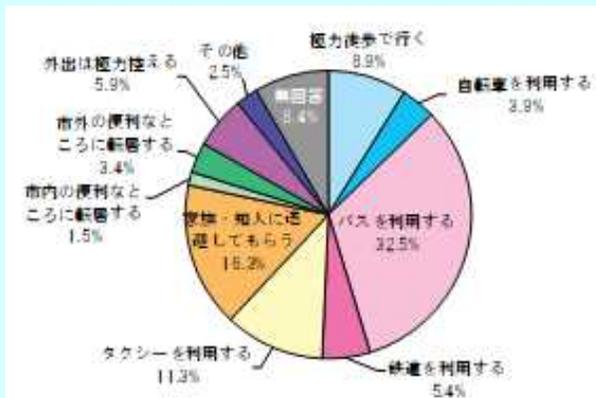
- ・鉄道やバスが、北斗市から函館市への通勤・通学目的の広域移動を担っている。
- ・市内交通について、現状では鉄道、バス、タクシーの役割、方向性が見えにくい。 ・公共交通の便が悪いため、独自に送迎が必要となっている。
- ・利用者の目的に合わせて、送迎などの工夫がされている。 ・目的に合わせた公共交通サービス及び情報提供がうまくいっていない。

#### ○市民等の移動実態及びニーズ把握

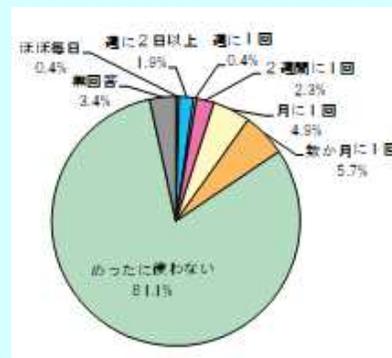
- ・住民アンケート及び地域ヒアリングを実施し、年齢・性別など属性ごとに利用者の移動実態や利用目的、他の交通手段への乗り継ぎ、必要とされるサービス等並びに新たな交通モードの検討に向けたニーズが把握できた。(アンケート対象者:市民500人(回答234人)及び高齢者運転免許証返納支援事業対象者311人(回答198人)、地域ヒアリング:5箇所・参加者35人)

#### ＜市民アンケートにより分かったこと＞

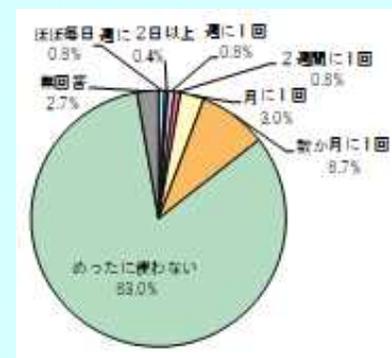
- ・将来、運転が困難になった場合の移動手段について
  - ➡バス利用を希望する割合が32.5%と、バスへの依存が高い。
- ・公共交通の利用頻度について、2週間に1回以上と答えた割合は、バス5%、鉄道2.8%、タクシー2.7%となっている。



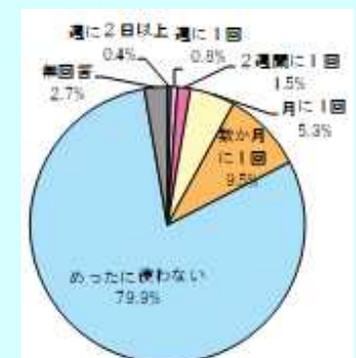
(バス)



(鉄道)



(タクシー)

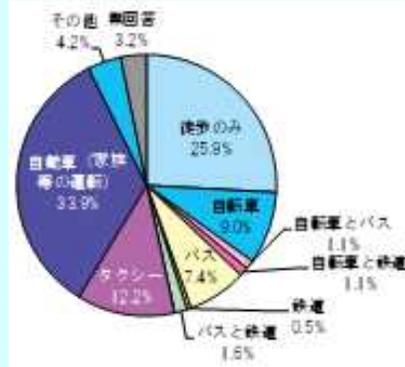


# 北斗市地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

## ●事業の結果概要

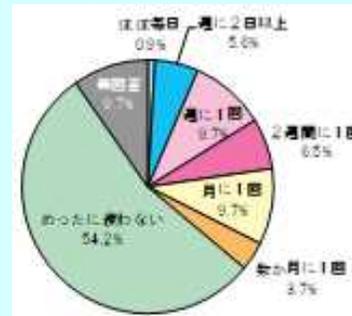
＜高齢者運転免許証返納支援事業対象者アンケートによりわかったこと＞

- ・買物について、徒歩25.9%、自転車9.0%と近隣で済ませられる方が一定数いる一方、33.9%は家族等の運転による自動車利用をしている。

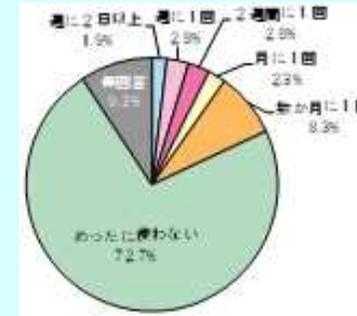


- ・公共交通の利用頻度について、2週間に1回以上と答えた割合は、バス22.7%、鉄道7.5%、タクシー28.7%と、市民アンケートに比べて、タクシー利用及びバス利用が増える。

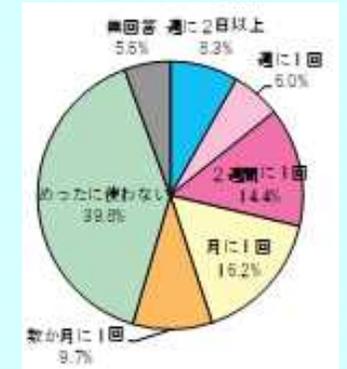
(バス)



(鉄道)



(タクシー)



- ・免許返納後、56%の方は外出頻度が減っている状況にある。

＜地域ヒアリングによりわかったこと＞

- ・日常生活における移動は市内が多いが、交通の便に不安がある。
- ・公共交通を利用するにはバス停が足りない、バス停までの距離が遠い。
- ・通勤、通学は函館市への移動が多いが、公共交通のサービス内容に不満がある。
- ・公共交通の情報(バス路線、時刻表等)が分かりにくい。
- ・タクシー料金が高いとの不満はあるも、荷物があるときなどに利用されており、タクシー助成(市の制度)も使われている。
- ・高齢者の運転は不安だが、免許返納した後の生活に不安があるために返納できない。

## ○北斗市地域公共交通計画案とりまとめ、協議会開催

- ・事務局と委託事業者において計画案の検討を行い、随時協議会において、各委員から意見聴取して、取りまとめを実施。

＜協議会開催状況＞

### ・令和2年8月26日 第4回協議会

計画を作成する目的、調査事業の実施概要等について、事務局及び委託事業者から説明。

### ・令和2年12月16日 第5回協議会

計画の構成、調査事業の実施状況、現状と課題、計画に基づく施策の方向性について、事務局及び委託事業者(オンライン)から説明。

## ○今後の予定

- ・今後、上記調査結果をもとに協議会の場で計画の詳細を検討した後、2月下旬に計画案を市に答申する。その後、市のパブリックコメントを経て、4月上旬に地域公共交通計画を決定する。

# 北斗市地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

## ●地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針

・住民アンケートや事業者ヒアリング、地域ヒアリングにおいて出された意見等を整理し、計画策定に向けた方針を以下のとおり整理した。

### 【北斗市全体】

市内全域で人口減少と高齢化が進行  
自家用車利用者が多く、公共交通利用者が減少  
公共交通(鉄道、バス)への補助金は約3,500万円

既存公共交通の利便性の向上

函館市内とのアクセスの強化

地区の実情や利用者ニーズに対応した市内公共交通サービスの提供

分かりやすい公共交通サービスの提供

潜在需要の掘り起こし

公共交通の維持・存続に向けた市民の意識啓発

### 【市内外の公共交通について】

函館市内との公共交通のサービス内容が不満  
南北バスは、利用者数が微増、収支率は減少  
市内の鉄道、バス、タクシー等、移動手段の役割が不明確

### 【市内の移動手段について】

郊外部に交通の便がない  
市内の生活移動に係る交通の便が不安  
市内に公共交通以外の移動手段は多い

### 【公共交通の利用について】

公共交通の情報が分かりにくい  
公共交通に対する市民の意識が低い

※新たな交通モードの運行にあたっては、地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統)の活用を見込む。

# 北斗市地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

## ●事業実施の適切性

計画どおり事業は適切に実施された。

## ●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

- ・事業は、計画どおり適切に実施されているものとする。
- ・今後も公共交通事業の収支率や公的資金投入額などの事業効率の改善等について検証していくことをご検討いただきたい。